



遺物觀察表





遺物觀察表（弥生時代）

第3表 Y-2号住居出土遺物

区分	学年	出発地	目的地	(成績)の評定			施設・整備状況の指標	備考
				成績	評定	成績		
1. 幼生部	1歳	自立	自立	1.直角 ③内斜 ④外斜 ⑤横角 ⑥右肩高音 ⑦左肩低音	後退	1.直角 ③内斜 ④外斜 ⑤横角 ⑥右肩高音 ⑦左肩低音	背面: 目標の位置	
2. 幼生部	1歳	自立	自立	1.中や不直 ②内斜 ③にほん語色 ⑤ ⑥横角	前進	1.中や不直 ②内斜 ③にほん語色 ⑤ ⑥横角	背面: 目標の位置	
3. 幼生部	1歳	自立	自立	1.直角 ③内斜 ④外斜 ⑤横角 ⑥右肩高音 ⑦左肩低音	前進	1.直角 ③内斜 ④外斜 ⑤横角 ⑥右肩高音 ⑦左肩低音	背面: 上脛から胸突炎、腰又、3条の位置、胸突炎に起きる	
4. 5才学年	2歳	自立	自立	1.中や不直 ②内斜 ③にほん語色 ⑤右肩、両脚高音齊音	前進	1.中や不直 ②内斜 ③にほん語色 ⑤右肩、両脚高音齊音	背面: 目標ヨコナビ、後脚ハタケヌ 内面: 目標ヨコナビ、後脚ハラケツリ	
5. 幼生部	休憩	自立	自立	1.中や不直 ②内斜 ③横角 ④右肩少傾、角脚音を多く	前進	1.中や不直 ②内斜 ③横角 ④右肩少傾、角脚音を多く	内面: 目標ヨコナビ	

第4表 Y-3号住居出土遺物(1)



遺物観察表（弥生時代）

第5表 Y-3号住居出土遺物（2）

区分	部類	出土位置	目録番号	（焼成）色鉛筆土器下付残		成・整列検討の特徴	備考
				直径	厚さ		
4	漆器	床面	1目付：15.6 底付：— 高さ：10.8	多量の黒色墨跡、赤色鉛筆は定形	外縁：（焼成）色鉛筆土器下付残 反時計回り：（焼成）漆・黒色鉛筆状灰瓦 内縁：（焼成）漆・黒色鉛筆状灰瓦	表面に粘着有り。	
5	漆器	炉	1目付：14.4 底付：— 高さ：14.6	（焼成）漆・外：淡褐色、内：淡黄色・淡白色。底面、黒色鉛筆、赤色鉛筆、赤色鉛筆（底付）銀葉上1/2	外縁：（焼成）漆コナフ、銀葉銀葉灰瓦（底付）。銀葉銀 内縁：（焼成）漆コナフ。銀葉銀葉灰瓦（底付）による焼成で 底を削り、銀葉銀葉のミガキ、底部ナメ。	外縁又は側面、内面コナ付有り。 内縁に銀葉銀葉灰瓦（底付）。	
6	漆器	床面	2目付：10.8 底付：5.0 高さ：11.2	（焼成）漆・外付：褐色、内：暗赤・淡褐色。チャート・赤 色鉛筆、赤色鉛筆（底付）銀葉上1/2	外縁：（焼成）漆コナフ。銀葉銀葉灰瓦（底付）による焼成で 底を削り、銀葉銀葉のミガキ、底部ナメ。	外縁スリ、内面コナ付有り。2次焼 成か。	
7	漆器	床面	1目付：10.7 2目付： （目付1 底付） 28	（焼成）漆・（内付）に赤い痕跡付。底面、黒色鉛筆、赤色鉛筆、 多量の黒色墨跡。赤色鉛筆は定形	外縁：（焼成）漆・底付ケタリ・ヘラナデ・ミガキ。 内縁：（焼成）漆・底付ケタリ・ヘラナデ・ミガキ。	外縁に黒跡有り。	
8	漆器	床面	1目付：20.8 底付：— 高さ：11.0 目付：1.5	（焼成）漆・（内付）に赤い痕跡付。底面は褐色・淡褐色、赤色鉛筆、銀葉（ ~8mm）（底付）（焼成欠損）	外縁：（焼成）漆・底付ケタリ・ヘラナデ・ミガキ上 銀葉灰瓦のナガサ。	外縁褐色化。又付有り（焼成 時分）、内面に黒跡有り。	
9	漆器	炉	1目付：0.22.0 底付：— 高さ：— 目付：—	（焼成）漆・（内付）に赤い痕跡付。底面、黒色鉛筆、 赤色鉛筆（底付）	外縁：（焼成）漆灰灰文・黒灰文 内縁：（焼成）漆コロド		
10	土器類	床面	1目付：22.0 底付：— 高さ：5.5	（焼成）漆・（内付）に赤い痕跡付。底面、黒色鉛筆、 赤色鉛筆（底付）	外縁：（焼成）漆・（内付）に赤い痕跡付。底面は褐色化。 内縁：（焼成）漆コナフ、銀葉銀葉ミガキの面跡をわずか に残す		
11	土器類	床面	1目付：— 底付：9.0 高さ：— 目付：—	（焼成）漆・（内付）に赤い痕跡付。底面、黒色鉛筆、 赤色鉛筆（底付）	外縁：（焼成）漆・（内付）に赤い痕跡付。底面は褐色化。 内縁：銀葉ヘラケツリ		
12	土器類	床面	1目付：12.2 底付：— 高さ：— 目付：17.7	（焼成）漆・（内付）に赤い痕跡付。底面、黒色鉛筆、 赤色鉛筆（底付）	外縁：（焼成）漆・（内付）に赤い痕跡付。底面は褐色化。 内縁：（焼成）漆コナフ、銀葉銀葉ミガキの面跡をわずか に残す		
13	漆器	床面	1目付：— 底付：— 高さ：4.8 目付：— 高さ：11.5	（焼成）漆・（内付）に赤い痕跡付。底面、黒色鉛筆、 赤色鉛筆（底付）	外縁：（焼成）漆・（内付）に赤い痕跡付。底面は褐色化。 内縁：（焼成）漆コロド		

第6表 Y-4号住居出土遺物

区分	部類	出土位置	目録番号	（焼成）色鉛筆土器下付残		成・整列検討の特徴	備考
				直径	厚さ		
1	5字盤	1板	1目付：17.0 底付：— 高さ：— 目付：—	（焼成）漆・（内付）に赤い痕跡付。底面、黒色鉛筆、 赤色鉛筆（底付）	外縁：（焼成）漆コナフ、銀葉ヘラケツリ・不規則のミガキ、 底面を多く含む。1mm程度の細粒を多量に含む。（焼成 時分）	外縁：（焼成）漆コナフ、銀葉ヘラケツリ	
2	土器類	板土	1目付：18.6 底付：— 高さ：— 目付：—	（焼成）漆・（内付）に赤い痕跡付。底面、黒色鉛筆、 赤色鉛筆（底付）	外縁：（焼成）漆コナフ 内縁：（焼成）漆コロド	半口縁式、内面糊化	
3	土器類	1板	1目付：12.0 底付：— 高さ：— 目付：—	（焼成）漆・（内付）に赤い痕跡付。底面、黒色鉛筆、 赤色鉛筆（底付）	外縁：（焼成）漆コロド 内縁：（焼成）漆コロド	口縁部熱により一部黒化	
4	漆器	板土	1目付：13.2 底付：— 高さ：— 目付：—	（焼成）漆・（内付）に赤い痕跡付。底面、黒色鉛筆を少し含む。 （焼成）漆コロド	外縁：（焼成）漆コロド 内縁：（焼成）漆コロド	（焼成）漆コロドの上に漆灰灰文（底付）と5mmほどの丸タブ の跡が付く。口縁下は糊化のミガキ、底面は（焼成）漆コロド （焼成）漆コロド（底付）	
5	漆器	板土	1目付：— 底付：— 高さ：— 目付：—	（焼成）漆・（内付）に赤い痕跡付。底面、黒色鉛筆を多く含む。 （焼成）漆コロド	外縁：（焼成）漆コロド 内縁：（焼成）漆コロド	（焼成）漆コロドの上に漆灰灰文（底付）	
6	漆器	板土	1目付：— 底付：— 高さ：— 目付：—	（焼成）漆・（内付）に赤い痕跡付。底面、黒色鉛筆を多く含む。 （焼成）漆コロド	外縁：（焼成）漆コロド 内縁：（焼成）漆コロド	（焼成）漆コロドの上に糊化のミガキ、底面は（焼成）漆コロド	
7	漆器	1板	1目付：— 底付：— 高さ：— 目付：—	（焼成）漆・（内付）に赤い痕跡付。底面、黒色鉛筆を多く含む。 （焼成）漆コロド	外縁：（焼成）漆コロド 内縁：（焼成）漆コロド	（焼成）漆コロドの上に糊化のミガキ、底面は（焼成）漆コロド	
8	漆器	板土	1目付：— 底付：— 高さ：— 目付：—	（焼成）漆・（内付）に赤い痕跡付。底面、黒色鉛筆を多く含む。 （焼成）漆コロド	外縁：（焼成）漆コロド 内縁：（焼成）漆コロド	（焼成）漆コロドの上に糊化のミガキ、底面は（焼成）漆コロド	

第7表 Y-5号住居出土遺物

区分	部類	出土位置	目録番号	（焼成）色鉛筆土器下付残		成・整列検討の特徴	備考
				直径	厚さ		
1	土器類	板土	1目付：— 底付：— 高さ：— 目付：—	（焼成）漆・（内付）に赤い痕跡付。底面、黒色鉛筆、 赤色鉛筆（底付）	外縁：（焼成）漆コロドの上部に範囲のミガキ		
2	土器類	板土	1目付：— 底付：— 高さ：— 目付：—	（焼成）漆・（内付）に赤い痕跡付。底面、黒色鉛筆、 赤色鉛筆（底付）	外縁：（焼成）漆コナフ	内面糊化	



遺物觀察表（古墳時代）

第8表 H-1号住居出土遺物

No.	品種	出土位置	測量 kml	（構造・色調）下限	（構造・色調）上限	成・整頓方法と時間	備考
1 土器類 甕	床底 底径：1.05m 底深：1m 底高：1.18m	1.05m	1.05m	下限：1.内側：黒褐色　3.右乳、輝石、青閃石多く含む 上限：1mm程度の砂粒を多く含む	2.内側：黒褐色　3.右乳、輝石、青閃石多く含む 4.底面欠損	外縁：1.縫隙ヨコナナ。縫隙縦位のハラケズリ 内縁：1.縫隙ヨコナナ。縫隙縦位のハラケズリ	

第9表 H-2号住居出土遺物

No.	品種	出土位置	測量 kml	（構造・色調）下限	（構造・色調）上限	成・整頓方法と時間	備考
1 土器類 甕	1.底 底径：1.01m 底深：1.03m 底高：0.96m	1.01m	1.01m	1.内側：3.左乳、輝石、青閃石多く含む 2.縫隙の内側	1.内側：3.左乳、輝石、青閃石多く含む 2.縫隙の内側	外縁：1.縫隙ヨコナナ。縫隙縦位のハラケズリ 内縁：1.縫隙ヨコナナ。縫隙縦位のハラケズリ	

第10表 H-3号住居出土遺物

No.	品種	出土位置	測量 kml	（構造・色調）下限	（構造・色調）上限	成・整頓方法と時間	備考
1 土器類 甕	1.底 底径：1.01m 底深：1.03m 底高：0.96m	1.01m	1.01m	1.内側：3.左乳、輝石、青閃石多く含む 2.縫隙の内側	1.内側：3.左乳、輝石、青閃石多く含む 2.縫隙の内側	外縁：1.縫隙ヨコナナ。縫隙縦位のハラケズリ 内縁：1.縫隙ヨコナナ。縫隙縦位のハラケズリ	
2 土器類 甕	2.底 底径：1.02m 底深：1.03m 底高：0.97m	1.02m	1.02m	1.内側：3.左乳、輝石、青閃石多く含む 2.縫隙の内側	1.内側：3.左乳、輝石、青閃石多く含む 2.縫隙の内側	外縁：1.縫隙縦位から縫隙下部までヨコナナ。下位ハラケズリ 内縁：ヨコナナ	
3 土器類 甕	1.底 底径：1.01m 底深：1.03m 底高：0.96m	1.01m	1.01m	1.内側：3.左乳、輝石、ハミスを少量含む 2.縫隙の内側	1.内側：3.左乳、輝石、ハミスを少量含む 2.縫隙の内側	外縁：縫隙ヨコナナ。縫隙縦位のハラケズリ 内縁：1.縫隙ヨコナナ。縫隙縦位のハラケズリ	
4 5字盤	1.底 底径：1.01m 底深：1.03m 底高：0.96m	1.01m	1.01m	1.内側：3.左乳、輝石、青閃石を少額含む 2.縫隙の内側	1.内側：3.左乳、輝石、青閃石を少額含む 2.縫隙の内側	外縁：ヨコナナ 内縁：ヨコナナ	
5 土器類 甕	1.底+2.縫隙 底径：1.01m 底深：1.03m 底高：0.96m	1.01m	1.01m	1.内側：3.左乳、輝石、青閃石多く含む 2.縫隙の内側	1.内側：3.左乳、輝石、青閃石多く含む 2.縫隙の内側	外縁：縫隙縦位のハラケズリ。縫隙上部ハラケズリ 内縁：縫隙ヨコナナ	
6 土器類 甕	1.底 底径：1.01m 底深：1.03m 底高：0.96m	1.01m	1.01m	1.内側：3.左乳、輝石、青閃石、スコリ 2.縫隙の内側	1.内側：3.左乳、輝石、青閃石、スコリ 2.縫隙の内側	外縁：縫隙ヨコナナ。下位縫隙のハラケズリを残す 内縁：縫隙ヨコナナ。下位縫隙のハラケズリ	
7 土器類 甕	1.底 底径：1.01m 底深：1.03m 底高：0.96m	1.01m	1.01m	1.内側：3.左乳、輝石、青閃石、スコリ 2.縫隙の内側	1.内側：3.左乳、輝石、青閃石、スコリ 2.縫隙の内側	外縁：ヨコナナ 内縁：下部に縫隙のハラケズリ	
8 土器類 甕	2.縫隙 底径：1.01m 底深：1.03m 底高：0.96m	1.01m	1.01m	1.内側：3.左乳、輝石、青閃石、スコリ 2.縫隙の内側	1.内側：3.左乳、輝石、青閃石、スコリ 2.縫隙の内側	外縁：ヨコナナ 内縁：ヨコナナ	
9 土器類 甕	床底 底径：1.01m 底深：1.03m 底高：0.95m 底高：1.13m	1.01m	1.01m	1.内側：3.左乳、輝石、青閃石、スコリ 2.縫隙の内側	1.内側：3.左乳、輝石、青閃石、スコリ 2.縫隙の内側	外縁：縫隙下部ヨコナナ。縫隙縦位のハラケズリ。縫隙ヨコナナ 内縁：縫隙下部ヨコナナ	

第11表 H-4号住居出土遺物

No.	品種	出土位置	測量 kml	（構造・色調）下限	（構造・色調）上限	成・整頓方法と時間	備考
1 土器類 甕	2.縫隙 底径：1.01m 底深：1.03m 底高：0.97m	1.01m	1.01m	1.内側：3.左乳、輝石、青閃石、スコリ 2.縫隙の内側	1.内側：3.左乳、輝石、青閃石、スコリ 2.縫隙の内側	外縁：1.縫隙縦位のハラケズリヨコナナ。体部 縫隙縦位のハラケズリ	
2 土器類 甕	2.縫隙+床底 底径：1.01m 底深：1.03m 底高：0.96m	1.01m	1.01m	1.内側：3.左乳、輝石、ハミス、青閃石を多く含む 2.縫隙の内側	1.内側：3.左乳、輝石、ハミス、青閃石を多く含む 2.縫隙の内側	外縁：縫隙ヨコナナ。縫隙縦位のヨコナナ	
3 土器類 甕	2.縫隙 底径：1.01m 底深：1.03m 底高：0.96m	1.01m	1.01m	1.内側：3.左乳、輝石、ハミスを少額含む 2.縫隙の内側	1.内側：3.左乳、輝石、ハミスを少額含む 2.縫隙の内側	外縁：ヨコナナ 内縁：ヨコナナ	
4 土器類 甕	1.底 底径：1.01m 底深：1.03m 底高：0.96m	1.01m	1.01m	1.内側：3.左乳、輝石、青閃石を少額含む、 2.縫隙の内側	1.内側：3.左乳、輝石、青閃石を少額含む、 2.縫隙の内側	外縁：ヨコナナ 内縁：縫隙のハラケズリ	内縁：縫隙付近、比較的受けて黒化している
5 土器類 甕	床底 底径：1.01m 底深：1.03m 底高：0.95m 底高：1.13m	1.01m	1.01m	1.内側：3.左乳、輝石、青閃石、スコリを多く含む 2.縫隙の内側	1.内側：3.左乳、輝石、青閃石を多く含む 2.縫隙の内側	外縁：1.縫隙ヨコナナ。縫隙縦位のヨコナナ	
6 土器類 甕	2.縫隙 底径：1.01m 底深：1.03m 底高：0.96m	1.01m	1.01m	1.内側：3.左乳、輝石、青閃石、スコリを多く含む 2.縫隙の内側	1.内側：3.左乳、輝石、青閃石を多く含む 2.縫隙の内側	外縁：縫隙ヨコナナ。縫隙縦位のヨコナナ	

第12表 H-5号住居出土遺物(1)

No.	品種	出土位置	測量 kml	（構造・色調）下限	（構造・色調）上限	成・整頓方法と時間	備考
1 土器類 甕	4.縫隙+3.底 底径：1.01m 底深：1.03m 底高：0.97m	1.01m	1.01m	1.内側：3.左乳、輝石、青閃石を少額含む 2.縫隙の内側	1.内側：3.左乳、輝石、青閃石を少額含む 2.縫隙の内側	外縁：1.縫隙ヨコナナ。縫隙縦位のヨコナナ 内縁：ヨコナナ	

遺物觀察表（古墳時代）

第13表 H-5号住居出土遺物(2)

No.	部類	出土地點	目次番號	目次番號	形・質・特徴	成・整列状況	備考
2	土器類 瓶	床面	1番:1.30 底径:— 高さ:— 口径:4.5cm	1.20H 2番:内側にふく張地付 底径:— 高さ:— 口径:— 底径:3.8cm	1mm程度の縁を含む。底面・側面を少磨耗。 内面:1層底ヨコナギ。底面縦筋のヘラケズリ	外面:1層底ヨコナギ。底面縦筋のヘラケズリ 内面:1層底ヨコナギ。底面縦筋のヘラケズリ	
3	S字彌 瓶	3瓶	1.1番:— 底径:— 高さ:— 口径:— 底径:3.8cm	1.30H 2番:内側に張地付 底径:— 高さ:— 口径:— 底径:3.8cm	口部:2.5cm。2番:内側に張地付。3番:右肩、薄石、側面石を含む。 内面:ヨコナギ。体部:ハテヌメ	外面:ヨコナギ。体部:ハテヌメ 内面:ヨコナギ。体部:ヨコナギ	
4	S字彌 瓶	4瓶	1.1番:— 底径:— 高さ:— 口径:— 底径:2.9cm	1.30H 2番:内側に張地付 底径:— 高さ:— 口径:— 底径:2.9cm	口部:2.5cm。2番:内側に張地付。3番:右肩、薄石、側面石を含む。 内面:ヨコナギ。体部:ヨコナギ	外面:ヨコナギ。体部:ヨコナギ 内面:ヨコナギ	
5	S字彌 瓶	4瓶	1.1番:— 底径:— 高さ:— 口径:— 底径:3.8cm	1.30H 2番:内側に張地付 底径:— 高さ:— 口径:— 底径:3.8cm	口部:2.5cm。2番:内側に張地付。3番:右肩、薄石、側面石を含む。 内面:ヨコナギ。体部:ハテヌメ	外面:ヨコナギ。体部:ハテヌメ 内面:ヨコナギ。体部:ヨコナギ	
6	S字彌 瓶	7瓶	1.1番:— 底径:— 高さ:— 口径:— 底径:3.4cm	1.30H 2番:内側に張地付 底径:— 高さ:— 口径:— 底径:3.4cm	口部:2.5cm。2番:内側に張地付。3番:右肩、薄石、側面石を含む。 内面:ヨコナギ。体部:ヨコナギ	外面:ヨコナギ 内面:ヨコナギ	
7	土器類 壺	10個	1.1番:1.96 底径:— 高さ:— 口径:— 底径:16.1cm	1.30H 2番:内側に張地付 底径:— 高さ:— 口径:— 底径:16.1cm	口部:2.5cm。2番:内側に張地付。3番:右肩、薄石、側面石を含む。2mm程度の縁を含む。底面の縫合部を少磨耗。 内面:1層底ヨコナギのち縦筋のミガキ。側面縦筋のヘラケズリ	外面:1層底ヨコナギのち縦筋のミガキ。側面縦筋のヘラケズリ 内面:1層底ヨコナギのち縦筋のミガキ。側面縦筋のヘラケズリ	
8	土器類 壺	4瓶+3瓶	1.1番:13.2cm 底径:— 高さ:— 口径:— 底径:13.7cm	1.30H 2番:内側にふく張地付 底径:— 高さ:— 口径:— 底径:13.7cm	口部:2.5cm。2番:内側にふく張地付。3番:右肩、薄石を少磨耗。4番:底面縦筋を少磨耗。(3)縫合一部欠け 内面:1層底ヨコナギのち縦筋のミガキ。側面縦筋のヘラケズリ	外面:1層底ヨコナギのち縦筋のミガキ。側面縦筋のヘラケズリ 内面:1層底ヨコナギのち縦筋のミガキ。側面縦筋のヘラケズリ	
9	土器類 壺	4瓶+3瓶	1.1番:— 底径:— 高さ:— 口径:— 底径:7.0cm	1.30H 2番:内側にふく張地付 底径:— 高さ:— 口径:— 底径:7.0cm	口部:2.5cm。2番:内側にふく張地付。3番:右肩、薄石を少磨耗。 内面:ヨコナギ	外面:ヨコナギ 内面:ヨコナギ	
10	土器類 壺	3瓶	1.1番:11.9cm 底径:— 高さ:— 口径:— 底径:9.6cm	1.30H 2番:内側にふく張地付 底径:— 高さ:— 口径:— 底径:9.6cm	口部:2.5cm。2番:内側にふく張地付。3番:右肩、薄石を少磨耗。 内面:1層底ヨコナギ。側面縦筋のヘラケズリ 内面:ヨコナギ	外面:1層底ヨコナギのち縦筋のミガキ。側面縦筋のヘラケズリ 内面:ヨコナギ	
11	土器類 壺	4瓶+2瓶	1.1番:1.82cm 底径:— 高さ:— 口径:— 底径:9.7cm	1.30H 2番:内側にふく張地付 底径:— 高さ:— 口径:— 底径:9.7cm	口部:2.5cm。2番:内側にふく張地付。3番:右肩、薄石を少磨耗。 内面:1層底ヨコナギ。側面縦筋のヘラケズリ 1mm程度の縫合を少含む。(3)縫合1/2欠け	外面:1層底ヨコナギ。側面縦筋のヘラケズリ 内面:1層底ヨコナギ。側面縦筋のヘラケズリ	
12	土器類 壺	4瓶	1.1番:16.9cm 底径:— 高さ:— 口径:— 底径:13.7cm	1.30H 2番:内側にふく張地付 底径:— 高さ:— 口径:— 底径:13.7cm	口部:2.5cm。2番:内側にふく張地付。3番:右肩、薄石を少磨耗。4番:底面縦筋を少磨耗。 内面:1層底ヨコナギのち縦筋のミガキ。側面縦筋のヘラケズリ	外面:1層底ヨコナギのち縦筋のミガキ。側面縦筋のヘラケズリ 内面:1層底ヨコナギのち縦筋のミガキ	
13	土器類 壺	4瓶	1.1番:18.0cm 底径:— 高さ:— 口径:— 底径:15.0cm	1.30H 2番:内側に張地付 底径:— 高さ:— 口径:— 底径:15.0cm	口部:2.5cm。2番:内側に張地付。3番:右肩を少磨耗。(3)縫合のみ	外面:1層底ヨコナギのち縦筋のミガキ 内面:ヨコナギ	
14	土器類 壺	4瓶	1.1番:1.82cm 底径:— 高さ:— 口径:— 底径:5.9cm	1.30H 2番:内側にふく張地付 底径:— 高さ:— 口径:— 底径:5.9cm	口部:2.5cm。2番:内側にふく張地付。3番:右肩を少磨耗。 内面:1層底ヨコナギ。側面縦筋のヘラケズリ 内面:ヨコナギ	外面:1層底ヨコナギ。側面縦筋のヘラケズリ 内面:ヨコナギ	
15	土器類 壺	3瓶	1.1番:— 底径:— 高さ:— 口径:— 底径:5.3cm	1.30H 2番:内側に張地付 底径:— 高さ:— 口径:— 底径:5.3cm	口部:2.5cm。2番:内側に張地付。3番:右肩を少磨耗。	外面:1層底ヨコナギ。側面縦筋のヘラケズリ。縫合部を丸状の黏土塊で充填	
16	土器類 壺	3瓶	1.1番:— 底径:— 高さ:— 口径:— 底径:4.14cm	1.30H 2番:内側にふく張地付 底径:— 高さ:— 口径:— 底径:4.14cm	口部:2.5cm。2番:内側にふく張地付。3番:右肩を少磨耗。	外面:ヨコナギのヘラケズリ 内面:体部下位縫合ヘラケズリ	
17	土器類 壺	4瓶	1.1番:— 底径:— 高さ:— 口径:— 底径:5.0cm	1.30H 2番:内側に張地付 底径:— 高さ:— 口径:— 底径:5.0cm	口部:2.5cm。2番:内側に張地付。3番:右肩を少磨耗。4番:底面縫合部を少含む。	外面:1層底ヨコナギ。側面縦筋のヘラケズリ。縫合部のミガキ。下部、縫合部のヘラケズリ 内面:ヨコナギ	
18	土器類 壺	4瓶	1.1番:— 底径:— 高さ:— 口径:— 底径:4.0cm	1.30H 2番:内側にふく張地付 底径:— 高さ:— 口径:— 底径:4.0cm	口部:2.5cm。2番:内側に張地付。3番:右肩を少磨耗。(3)縫合のみ	外面:1層底ヨコナギ。側面縦筋のヘラケズリ 内面:ヨコナギ	
19	土器類 壺	4瓶+3瓶	1.1番:— 底径:— 高さ:— 口径:— 底径:4.6cm	1.30H 2番:内側にふく張地付 底径:— 高さ:— 口径:— 底径:4.6cm	口部:2.5cm。2番:内側にふく張地付。3番:右肩を少磨耗。4番:底面縫合部を少含む。 内面:ヨコナギ	外面:1層底ヨコナギ。側面縦筋のヘラケズリ 内面:1層底ヨコナギ。側面縦筋のヘラケズリ	

第14表 H-6号住居出土遺物

No.	部類	出土地點	目次番號	目次番號	形・質・特徴	成・整列状況	備考
1	土器類 瓶	1瓶	1.1番:— 底径:— 高さ:— 口径:— 底径:5.8cm 口径:4.6cm	1.30H 2番:内側にふく張地付 底径:— 高さ:— 口径:— 底径:5.8cm 口径:4.6cm	口部:2.5cm。2番:内側にふく張地付。3番:右肩を少磨耗。4番:底面縫合部を少含む。 内面:ヨコナギ	外面:ヨコナギ 内面:ヨコナギ	

第15表 H-7号住居出土遺物(1)

No.	部類	出土地點	目次番號	目次番號	形・質・特徴	成・整列状況	備考
1	土器類 瓶	1瓶	1.1番:12.4cm 底径:— 高さ:— 口径:— 底径:4.8cm	1.30H 2番:内側にふく張地付 底径:— 高さ:— 口径:— 底径:4.8cm	口部:2.5cm。2番:内側にふく張地付。3番:右肩を少磨耗。4番:底面縫合部を少含む。 内面:ヨコナギ	外面:1層底ヨコナギ。側面一部ヘラケズリ 内面:ヨコナギ	
2	土器類 瓶	1瓶	1.1番:13.0cm 底径:— 高さ:— 口径:— 底径:5.4cm	1.30H 2番:内側にふく張地付 底径:— 高さ:— 口径:— 底径:5.4cm	口部:2.5cm。2番:内側にふく張地付。3番:右肩を少磨耗。4番:底面縫合部を少含む。 内面:ヨコナギ	外面:1層底ヨコナギ。側面一部ヘラケズリ 内面:ヨコナギ	
3	土器類 瓶	1瓶	1.1番:16.0cm 底径:— 高さ:— 口径:— 底径:5.7cm	1.30H 2番:内側にふく張地付 底径:— 高さ:— 口径:— 底径:5.7cm	口部:2.5cm。2番:内側にふく張地付。3番:右肩を少磨耗。4番:底面縫合部を少含む。 内面:ヨコナギ	外面:1層底ヨコナギ。側面縫合部のナダのミガキ(縫合部のみ) 内面:ヨコナギ	



遺物觀察表（古墳時代）

第16表 H-7号住居出土遺物(2)

No.	品種	出土地點	測量(10m)	遺物(古墳上)・焼灰		成・整的特徴	備考	
				1	2			
4	土器類	1層	1.05m	1.05m	2.2m	外縁ヨコナギ、内縁ホリヤマリ 底径：5.4 高さ：1.65-	外縁ヨコナギ、内縁ホリヤマリ 底径：5.4 少頃含む。2mm程度の繩を含む。底部の内	外縁ヨコナギ、内縁ホリヤマリ 底径：5.4 少頃含む。2mm程度の繩を含む。底部の内

第17表 H-8号住居出土遺物

No.	品種	出土地點	測量(10m)	遺物(古墳上)・焼灰		成・整的特徴	備考
				1	2		
1	土器類 甕	1層	1.05m	1.05m	2.2m	外縁ヨコナギ、内縁ホリヤマリ 底径：15.6 少頃含む。1~2mm程度の繩を含む。底はぼ	外縁ヨコナギ、底部付近に側面凹凸、側面縁付の ヘタケツリ
2	土器類 方マヨ	1層	1.75	1.75	2.2m	外縁ヨコナギ、内縁ホリヤマリ、底付近 底径：6.0 高さ：3.31	外縁ヨコナギ、底部縁付のヘタケツリ 内縁ヨコナギ、底部縁付のヘタケツリ
3	土器類 甕	1層+床底	1.72	1.72	2.2m	外縁ヨコナギ、内縁ホリヤマリ、底付近 底径：6.0 高さ：3.06-	外縁ヨコナギ、底部縁付のヘタケツリ 内縁ヨコナギ、底部縁付のヘタケツリ
4	土器類 甕	1層+方マヨ	16.4	16.4	2.2m	外縁ヨコナギ、内縁ホリヤマリ、少頃含む。 底付近：2.17m	外縁ヨコナギ、底部縁付のヘタケツリ 内縁ヨコナギ、底部縁付のヘタケツリ
5	土器類 甕	1層+方マヨ	9.0	9.0	2.2m	外縁ヨコナギ、内縁ホリヤマリ、少頃含む。 底付近：2.03m	外縁ヨコナギ、底部縁付のヘタケツリ 内縁ヨコナギ、底部縁付のヘタケツリ

第18表 H-9号住居出土遺物

No.	品種	出土地點	測量(10m)	遺物(古墳上)・焼灰		成・整的特徴	備考
				1	2		
1	土器類 甕	1層	1.24	1.24	2.2m	外縁ヨコナギ、内縁ホリヤマリ、少頃含む。 底付近：3.8m	外縁ヨコナギ、底部縁付のヘタケツリ 内縁ヨコナギ
2	土器類 甕+P2	1層+P2	15.0	15.0	2.2m	外縁ヨコナギ、内縁ホリヤマリ、少頃含む。 底付近：1.4	外縁ヨコナギ、底部縁付のヘタケツリ 内縁ヨコナギ
3	土器類 甕	1層	2.45	2.45	2.2m	外縁ヨコナギ、内縁ホリヤマリ、少頃含む。 底付近：2.45	外縁ヨコナギ、底部縁付のヘタケツリ 内縁ヨコナギ
4	土器類 甕	2層	2.04	2.04	2.2m	外縁ヨコナギ、内縁ホリヤマリ、少頃含む。 底付近：1.9	外縁ヨコナギ、底部縁付のヘタケツリ 内縁ヨコナギ
5	土器類 甕	14.8	14.8	2.2m	外縁ヨコナギ、内縁ホリヤマリ、少頃含む。 底付近：2.45	外縁ヨコナギ、底部縁付のヘタケツリ 内縁ヨコナギ	
6	土器類 甕	1層	15.0	15.0	2.2m	外縁ヨコナギ、内縁ホリヤマリ、少頃含む。 底付近：1.46	外縁ヨコナギ、底部縁付のヘタケツリ 内縁ヨコナギ
7	土器類 甕	1層	15.0	15.0	2.2m	外縁ヨコナギ、内縁ホリヤマリ、少頃含む。 底付近：1.5	外縁ヨコナギ、底部縁付のヘタケツリ 内縁ヨコナギ

第19表 H-10号住居出土遺物

No.	品種	出土地點	測量(10m)	遺物(古墳上)・焼灰		成・整的特徴	備考
				1	2		
1	土器類 甕	1層	1.12	1.12	2.2m	外縁ヨコナギ、内縁ホリヤマリ、少頃含む。 底付近：4.0m	外縁ヨコナギ、内縁ホリヤマリ、少頃含む。 底付近：3.1/2
2	土器類 甕	1層	11.38	11.38	2.2m	外縁ヨコナギ、内縁ホリヤマリ、少頃含む。 底付近：5.8	外縁ヨコナギ、内縁ホリヤマリ、少頃含む。 底付近：3.8
3	土器類 甕	1層	13.2	13.2	2.2m	外縁ヨコナギ、内縁ホリヤマリ、少頃含む。 底付近：2.0	外縁ヨコナギ、内縁ホリヤマリ、少頃含む。 底付近：3.8
4	土器類 甕	1層	14.0	14.0	2.2m	外縁ヨコナギ、内縁ホリヤマリ、少頃含む。 底付近：5.5	外縁ヨコナギ、内縁ホリヤマリ、少頃含む。 底付近：3.8
5	土器類 甕	1層	14.6	14.6	2.2m	外縁ヨコナギ、内縁ホリヤマリ、少頃含む。 底付近：4.0m	外縁ヨコナギ、内縁ホリヤマリ、少頃含む。 底付近：3.8
6	土器類 甕	1層	14.78	14.78	2.2m	外縁ヨコナギ、内縁ホリヤマリ、少頃含む。 底付近：1.25	外縁ヨコナギ、内縁ホリヤマリ、少頃含む。 底付近：3.8
7	土器類 甕	1層	15.0	15.0	2.2m	外縁ヨコナギ、内縁ホリヤマリ、少頃含む。 底付近：5.4	外縁ヨコナギ、内縁ホリヤマリ、少頃含む。 底付近：3.8



遺物観察表（古墳時代）

第20表 H-11号住居出土遺物

No.	部類	出土位置	基盤長さ	（構造）地盤工事下・現存	成・整頓目次記号	備考
1	土器類 杯	2階 壁	1.05 幅: 13.8 底径: 1~ 高さ: <4.6	1.05(1.08) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	1.05(1.08) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	外蓋: 1.05(1.08)コナフ。底部ヘラケズリ 内蓋: 1ココナフ
2	土器類 杯	1階+2階 床	1.05 幅: 11.0 底径: 1~ 高さ: <4.7	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	外蓋: 1.05(1.05)コナフ。底部ヘラケズリ 内蓋: 1ココナフ
3	土器類 杯	2階 床	1.05 幅: 10.0 底径: 1~ 高さ: <3.8	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	外蓋: 1.05(1.05)コナフ。底部ヘラケズリ 内蓋: 1ココナフ
4	土器類 杯	カマドの上 床	1.05 幅: 12.8 底径: 1~ 高さ: <5.6	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	外蓋: 1.05(1.05)コナフ。底部ヘラケズリ 内蓋: 1ココナフ
5	土器類 杯	2階 床	1.05 幅: 12.0 底径: 1~ 高さ: <4.4	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	外蓋: 1.05(1.05)コナフ。底部ヘラケズリ 内蓋: 1ココナフ
6	土器類 杯	2階 床	1.05 幅: 12.6 底径: 1~ 高さ: <5.5	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	外蓋: 1.05(1.05)コナフ。底部ヘラケズリ 内蓋: 1ココナフ
7	土器類 杯	床底 床	1.05 幅: 13.0 底径: 1~ 高さ: <5.0	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	外蓋: 1.05(1.05)コナフ。底部ヘラケズリ 内蓋: 1ココナフ
8	土器類 甕	カクラン 甕	1.05 幅: 13.4 底径: 1~ 高さ: 8.2	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	外蓋: 1.05(1.05)コナフ。底部ヘラケズリ 内蓋: 1ココナフ
9	土器類 甕	1階+カラン 甕	1.05 幅: 14.0 底径: 7.8 高さ: 2.50	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	外蓋: 1.05(1.05)コナフ。底部ヘラケズリ 内蓋: 1ココナフ
10	土器類 甕	カマド底 底	1.05 幅: 16.5 底径: 6.4 高さ: 3.70	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	外蓋: 1.05(1.05)コナフ。底部ヘラケズリ 内蓋: 1ココナフ
11	土器類 甕	底底	1.05 幅: 22.9 底径: 1~ 高さ: <14.7	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	外蓋: 1.05(1.05)コナフ。底部ヘラケズリ 内蓋: 1ココナフ
12	土器類 甕	1階+2階 底	1.05 幅: 20.0 底径: 1~ 高さ: <9.7	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	外蓋: 1.05(1.05)コナフ。底部ヘラケズリ 内蓋: 1ココナフ

第21表 H-12号住居出土遺物

No.	部類	出土位置	基盤長さ	（構造）地盤工事下・現存	成・整頓目次記号	備考
1	土器類 杯	1階 壁	1.05 幅: 13.4 底径: 4.4 高さ: 4.5	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	外蓋: 1.05(1.05)コナフ。底部ヘラケズリ 内蓋: 1ココナフ
2	土器類 杯	床底 床	1.05 幅: 14.4 底径: 4.4 高さ: 4.9	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	外蓋: 1.05(1.05)コナフ。底部ヘラケズリ 内蓋: 1ココナフ
3	土器類 杯	0階+1階 床	1.05 幅: 9.9 底径: 3.8 高さ: 3.81	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	外蓋: 1.05(1.05)コナフ。底部ヘラケズリ 内蓋: 1ココナフ
4	土器類 杯	2階 床底+1階 床	1.05 幅: 12.7 底径: 4.3 高さ: 3.5	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	外蓋: 1.05(1.05)コナフ。底部ヘラケズリ 内蓋: 1ココナフ
5	土器類 杯	1階 床	1.05 幅: 14.0 底径: 4.3 高さ: 3.5	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	外蓋: 1.05(1.05)コナフ。底部ヘラケズリ 内蓋: 1ココナフ
6	土器類 杯	底底	1.05 幅: 1~ 底径: 1/3	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	外蓋: 1.05(1.05)コナフ。底部ヘラケズリ 内蓋: 1ココナフ
7	土器類 杯	2階 床	1.05 幅: 14.8 底径: 4.3 高さ: 4.7	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	外蓋: 1.05(1.05)コナフ。底部ヘラケズリ 内蓋: 1ココナフ
8	土器類 甕	1階 底	1.05 幅: 12.4 底径: 4.3 高さ: 3.7	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	外蓋: 1.05(1.05)コナフ。底部ヘラケズリ 内蓋: 1ココナフ
9	土器類 甕	2階 底	1.05 幅: 12.2 底径: 4.4 高さ: 4.4	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	外蓋: 1.05(1.05)コナフ。底部ヘラケズリ 内蓋: 1ココナフ
10	土器類 甕	底底	1.05 幅: 11.8 底径: 2.6 高さ: 2.6	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	外蓋: 1.05(1.05)コナフ。底部ヘラケズリ 内蓋: 1ココナフ
11	土器類 甕	1階 底	1.05 幅: 10.82 底径: 9.0 高さ: 3.20	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	1.05(1.05) 内面: 2面 外壁: 1面 底面: 1面 側面: 1面	外蓋: 1.05(1.05)コナフ。底部ヘラケズリ 内蓋: 1ココナフ



遺物觀察表（古墳時代）

第22表 H-15号住居出土遺物

No.	器種	出土位置	基準 (cm)	形状 (cm)	主な特徴 (古墳上部) / 残存状況	成・整列状況 (古墳下部)	備考
1 土師器 灰	ガマ下	1.0尺	12.2 幅: 2.0 高さ: 3.4	小手平底、内側・外側・側面 多く残る。(古墳部)	外底: 1.0mmヨコナギ。底部ヘラケズリ 内面: ヘラケズリ		
2 土師器 灰	3 枚	1.0尺 幅: 1.8 高さ: 3.2 高さ: 3.2	小手平底、内側・外側・側面 多く残る。(古墳部)	外底: 1.0mmヨコナギ。底部ヘラケズリ 内面: ヘラケズリ			
3 土師器 灰	3 枚	1.0尺 幅: 1.7 高さ: 3.3 高さ: 3.5	小手平底、内側・外側・側面 多く残る。(古墳部)	外底: 1.0mmヨコナギ。底部ヘラケズリ 内面: ヘラケズリ			
4 土師器 灰	3 枚	1.0尺 幅: 1.7 高さ: 3.4	小手平底、内側・外側・側面 多く残る。(古墳部)	外底: 1.0mmヨコナギ。底部ヘラケズリ 内面: ヘラケズリ			
5 土師器 灰	3 枚	1.0尺 幅: 1.0 高さ: 1.9 高さ: 2.1	小手平底、内側・外側・側面 多く残る。(古墳部)	外底: 1.0mmヨコナギ。底部ヘラケズリ 内面: ヨコナギ			
6 土師器 灰	底盤	1.0尺 幅: 11.5 高さ: 4.4	底盤、内側・外側・側面 多く残る。(古墳部)	外底: 1.0mmヨコナギ。底部ヘラケズリ 内面: ヨコナギ			
7 土師器 灰	3 枚	1.0尺 幅: 8.4 高さ: 3.4	小手平底、内側・外側・側面 多く残る。(古墳部)	外底: ヘラケズリ 内面: ヨコナギ			
8 陶器 器	3 枚	1.0尺 幅: 10.0 高さ: 1.9	小手平底、内側・外側・側面 多く残る。(古墳部)	外底: 体深約1cm・ヘラケズリ、縫隙ヨコナギ 内面: 縫隙ヨコナギ			
9 土師器 灰	3 枚	1.0尺 幅: 1.4 高さ: 1.4 高さ: 3.4	小手平底、内側・外側・側面 多く残る。(古墳部)	外底: 1.0mmヨコナギ。底部ヘラケズリ 内面: ヨコナギ			
10 土師器 灰	3 枚	1.0尺 幅: 1.2 高さ: 3.5	小手平底、内側・外側・側面 多く残る。(古墳部)	外底: ヨコナギ 内面: ヨコナギ			
11 土師器 高環	3 枚	1.0尺 幅: 12.8 高さ: 1.5 高さ: 5.0	小手平底、内側・外側・側面 多く残る。(古墳部)	外底: 1.0mmヨコナギ。底部ヘラケズリの跡 内面: ヨコナギ	式樣に別付アリ		
12 土師器 灰	3 枚	1.0尺 幅: 2.5 高さ: 8.6	小手平底、内側・外側・側面 多く残る。(古墳部)	外底: 1.0mmヨコナギ。底部ヘラケズリ 内面: ヨコナギ			
13 土師器 灰	3 枚	1.0尺 幅: 16.4 高さ: 1.1 高さ: 2.5 高さ: 2.5	小手平底、内側・外側・側面 多く残る。(古墳部)	外底: 1.0mmヨコナギ。底部ヘラケズリ 内面: (ヨコナギ) (石房、黒漆刷毛(縄文石)) (白漆刷毛) (刷毛打打タキ・刷毛打打タキ) (下土・棘刺打)	馬糞洗淨丸		
14 土師器 灰	ガマ下	1.0尺 幅: 15.0 高さ: 1.1 高さ: 1.0	小手平底、内側・外側・側面 多く残る。(古墳部)	外底: 1.0mmヨコナギ。底部ヘラケズリ 内面: ヨコナギ			
15 土師器 灰	2 枚	1.0尺 幅: 1.5 高さ: 1.5 高さ: 2.0	小手平底、内側・外側・側面 多く残る。(古墳部)	外底: 1.0mmヨコナギ。底部ヘラケズリ 内面: ヨコナギ			
16 土師器 灰	3 枚	1.0尺 幅: 21.8 高さ: 1.7 高さ: 2.8	小手平底、内側・外側・側面 多く残る。(古墳部)	外底: 1.0mmヨコナギ。底部ヨコナギのハラケズリ 内面: ヨコナギ			
17 土師器 灰	3 枚	1.0尺 幅: 22.6 高さ: 1.5 高さ: 2.5	小手平底、内側・外側・側面 多く残る。(古墳部)	外底: 1.0mmヨコナギ。底部ヘラケズリ 内面: ヨコナギ			
18 土師器 灰	2 枚 <3 枚	1.0尺 幅: 2.5 高さ: 6.5 高さ: 6.5 高さ: 3.4 高さ: 3.4	小手平底、内側・外側・側面 多く残る。(古墳部)	外底: 1.0mmヨコナギ。底部ヘラケズリ 内面: ヨコナギ			
19 土師器 灰	2 枚 <3 枚	1.0尺 幅: 2.5 高さ: 7.0 高さ: 7.0	小手平底、内側・外側・側面 多く残る。(古墳部)	外底: 1.0mmヨコナギ。底部ヘラケズリ 内面: ヨコナギ			
20 土師器 灰	3 枚	1.0尺 幅: 19.9 高さ: 1.5 高さ: 2.4 高さ: 24.3	小手平底、内側・外側・側面 多く残る。(古墳部)	外底: 1.0mmヨコナギ。底部ヘラケズリ 内面: ヨコナギ			

第23表 2号溝出土遺物

No.	器種	出土位置	基準 (cm)	形状 (cm)	主な特徴 (古墳上部) / 残存状況	成・整列状況 (古墳下部)	備考
1 土師器 灰	1.0尺 幅: 13.0	1.0尺 幅: 4.2 高さ: 4.2	小手平底、内側・外側・側面 多く残る。(古墳部)	外底: 1.0mmヨコナギ。底部ヘラケズリ 内面: ヨコナギ			
2 土師器 灰	1.0尺	1.0尺 幅: 13.0 高さ: 1.0	小手平底、内側・外側・側面 多く残る。(古墳部)	外底: 1.0mmヨコナギ。底部ヘラケズリ 内面: ヨコナギ	縫隙に細い筋の複数行在 1cm 幅のケズリがち密みられる		
3 土師器 灰	1.0尺	1.0尺 幅: 16.8 高さ: 1.0 高さ: 3.7	小手平底、内側・外側・側面 多く残る。(古墳部)	外底: 1.0mmヨコナギ。底部ヘラケズリ 内面: ヨコナギ			
4 土師器 灰	1.0尺	1.0尺 幅: 14.6 高さ: 1.0	小手平底、内側・外側・側面 多く残る。(古墳部)	外底: 1.0mmヨコナギ。底部ヘラケズリ 内面: ヨコナギ			



遺物觀察表（古墳時代）

第24表 1号竪穴式石室出土遺物

件名	品種	出土位置	大きさ cm	1.形状 2.表面 3.内部 4.特徴	成・整形技術の特徴		備考
					外高	内高	
1 砂生土器	1種	1底	—	1.筒状 2.内外・褐色 3.石灰、輝石を含む。1mm程度の凹部を含む。(3個)	(1.5H)	(0.6H)	外高：(1.5H±0.1) (0.6H±0.05) 1.筒状圓錐形、下部に 1 条の浅縦溝
2 砂生土器	1種	1底	—	1.筒狀 2.内外・褐色 3.石灰、輝石、角閃石を含む。(3個)	(1.5H)	(0.6H)	外高：筒状圓錐形の上にコロコロ型に化粧を施す 内面：ヘラケズリ
3 砂生土器	1種	1底	—	1.筒狀 2.内外・褐色 3.石灰、輝石、角閃石を含む。(3個)	(1.5H)	(0.6H)	外高：筒状圓錐形の上にコロコロ型に化粧を施す 内面：頭端ナメ
4 5字盤	1種	1底	—	1.筒狀 2.内外・褐色 3.石灰、輝石、石片を多く含む。(3個)	(1.5H)	(0.6H)	外高：(1.5H±0.1) (0.6H±0.05) 1.筒状圓錐形、内面：頭端ココナデ
5 土被器 付	1種	1底	—	1.筒狀 2.内外・褐色 3.石灰、輝石を多く含む。(3個)	(1.5H)	(0.6H)	外高：ヨコナデ 内面：ヨコナデ
6 砂生土器 高坪	1種	1底	—	1.筒狀 2.内外・褐色 3.石灰、輝石を含む。一部青銅色。(3個)	(1.5H)	(0.6H)	外高：筒状圓錐形 内面：頭端エガハ
7 砂生土器	1種	1底	—	1.筒狀 2.内外・褐色 3.石灰を多く含む。(3個)	(1.5H)	(0.6H)	外高：筒状圓錐形 (直柱) 内面：頭端エガハ
8 13002	PS 圓玉	2.井干	—	1.筒狀 2.内外・黄褐色 3.石英無縫片岩。1mm程度の凹部を含む。(3個)	(1.5H)	(0.6H)	外高：(1.5H±0.1) (0.6H±0.05) 1.筒状圓錐形の上にハゲヌ 内面：頭端ヘラケズリ

遺物観察表（古代）

第25表 H-13号住居出土遺物

No.	遺物	出土位置	測定値(cm)	（判明した）削面下地（手工作業）	（判明した）削面（工具による）	備考
1 环	3 枚	1.8cm	11.0cm 幅: 0.3cm 厚: 0.2cm	（小）手平・内凹・削面直角 （大）手平・内凹	外凸：1mm強ヨコナギ 内凹：削面ヨコナギ	
2 环	4 枚	1.8cm	11.0cm 幅: 0.3cm 厚: 0.2cm	（小）手平・内凹・削面直角 （大）手平・内凹	外凸：1mm強ヨコナギ 内凹：削面ヨコナギ （手）手平ヨコナギ	外削体面下部近辺に幾つかのヘタリ 外削の初期あり
3 环	4 枚	1.8cm	11.0cm 幅: 0.3cm 厚: 0.2cm	（小）手平・内凹・削面直角 （大）手平・内凹	外凸：1mm強ヨコナギ 内凹：削面ヨコナギ （手）手平ヨコナギ	
4 环	2 枚	1.8cm	11.0cm 幅: 0.3cm 厚: 0.2cm	（小）手平・内凹・削面直角 （大）手平・内凹	外凸：1mm強ヨコナギ 内凹：削面ヨコナギ （手）手平ヨコナギ	
5 环	2 枚	1.8cm	11.0cm 幅: 0.3cm 厚: 0.2cm	（小）手平・内凹・削面直角 （大）手平・内凹	外凸：1mm強ヨコナギ 内凹：削面ヨコナギ （手）手平ヨコナギ	
6 环	2 枚	1.8cm	11.0cm 幅: 0.3cm 厚: 0.2cm	（小）手平・内凹・削面直角 （大）手平・内凹	外凸：1mm強ヨコナギ 内凹：削面ヨコナギ （手）手平ヨコナギ	
7 环	3 枚	1.8cm	11.0cm 幅: 0.3cm 厚: 0.2cm	（小）手平・内凹・削面直角 （大）手平・内凹	外凸：1mm強ヨコナギ 内凹：削面ヨコナギ （手）手平ヨコナギ	前面に「十」字の削りアリ
8 环	1 枚	1.8cm	11.0cm 幅: 0.6cm 厚: 0.3cm	（小）手平・内凹・削面直角 （大）手平・内凹	外凸：1mm強ヨコナギ 内凹：削面ヨコナギ （手）手平ヨコナギ	
9 高脚 高脚	3 枚	1.8cm	11.0cm 幅: 0.3cm 厚: 0.2cm	（小）手平・内凹・削面直角 （大）手平・内凹	外凸：1mm強ヨコナギ 内凹：削面ヨコナギ （手）手平ヨコナギ	
10 高脚 高脚	2 枚+3枚	1.8cm	11.0cm 幅: 0.3cm 厚: 0.2cm	（小）手平・内凹・削面直角 （大）手平・内凹	外凸：1mm強ヨコナギ 内凹：削面ヨコナギ （手）手平ヨコナギ	
11 高脚 高脚	2 枚	1.8cm	11.0cm 幅: 0.3cm 厚: 0.2cm	（小）手平・内凹・削面直角 （大）手平・内凹	外凸：1mm強ヨコナギ 内凹：削面ヨコナギ （手）手平ヨコナギ	外削の部分ほどにガラス化した状 が付着
12 高脚 高脚	3 枚	1.8cm	11.0cm 幅: 0.3cm 厚: 0.2cm	（小）手平・内凹・削面直角 （大）手平・内凹	外凸：1mm強ヨコナギ 内凹：削面ヨコナギ （手）手平ヨコナギ	
13 高脚 高脚	1 枚	1.8cm	12.0cm 幅: 0.6cm 厚: 0.3cm	（小）手平・内凹・削面直角 （大）手平・内凹	外凸：1mm強ヨコナギ 内凹：削面ヨコナギ （手）手平ヨコナギ	
14 高脚 高脚	2 枚	1.8cm	12.0cm 幅: 0.6cm 厚: 0.3cm	（小）手平・内凹・削面直角 （大）手平・内凹	外凸：1mm強ヨコナギ 内凹：削面ヨコナギ （手）手平ヨコナギ	
15 高脚 高脚	2 枚	1.8cm	11.0cm 幅: 0.3cm 厚: 0.2cm	（小）手平・内凹・削面直角 （大）手平・内凹	外凸：1mm強ヨコナギ 内凹：削面ヨコナギ （手）手平ヨコナギ	HG-6+7からの延人か
16 环	2 枚	1.8cm	4.4cm 幅: 0.6cm 厚: 1.8cm			

第26表 H-14号住居出土遺物（1）

No.	遺物	出土位置	測定値(cm)	（判明した）削面下地（手工作業）	（判明した）削面（工具による）	備考
1 环	4 枚	1.8cm	11.0cm 幅: 0.3cm 厚: 0.2cm	（小）手平・内凹・削面直角 （大）手平・内凹	外凸：1mm強ヨコナギ 内凹：削面ヨコナギ （手）手平ヨコナギ	
2 环	4 枚	1.8cm	12.2cm 幅: 0.6cm 厚: 0.3cm	（小）手平・内凹・削面直角 （大）手平・内凹	外凸：1mm強ヨコナギ 内凹：削面ヨコナギ （手）手平ヨコナギ	
3 环	4 枚	1.8cm	11.0cm 幅: 0.3cm 厚: 0.2cm	（小）手平・内凹・削面直角 （大）手平・内凹	外凸：1mm強ヨコナギ 内凹：削面ヨコナギ （手）手平ヨコナギ	
4 环	7 枚	1.8cm	11.0cm 幅: 0.3cm 厚: 0.2cm	（小）手平・内凹・削面直角 （大）手平・内凹	外凸：1mm強ヨコナギ 内凹：削面ヨコナギ （手）手平ヨコナギ	
5 环	2 枚	1.8cm	13.4cm 幅: 0.6cm 厚: 0.3cm	（小）手平・内凹・削面直角 （大）手平・内凹	外凸：1mm強ヨコナギ 内凹：削面ヨコナギ （手）手平ヨコナギ	
6 环	4 枚	1.8cm	13.8cm 幅: 0.6cm 厚: 0.2cm	（小）手平・内凹・削面直角 （大）手平・内凹	外凸：1mm強ヨコナギ 内凹：削面ヨコナギ （手）手平ヨコナギ	外削の部分ほどにガラス化した状がかかる
7 环	4 枚	1.8cm	13.8cm 幅: 0.6cm 厚: 0.2cm	（小）手平・内凹・削面直角 （大）手平・内凹	外凸：1mm強ヨコナギ 内凹：削面ヨコナギ （手）手平ヨコナギ	
8 环	3 枚+4枚	1.8cm	10.9cm 幅: 0.6cm 厚: 1.8cm	（小）手平・内凹・削面直角 （大）手平・内凹	外凸：1mm強ヨコナギ 内凹：削面ヨコナギ	



遺物觀察表（古代）

第27表 H-14号住居出土遺物（2）

No.	品種	出土位置	性質 (mm)	寸法或ノ表面 (mm)	成・整形方法の特徴	備考
9	素面貝 壳	3 線	1.0H : - 底径 : - 周長 : - 幅合 : -7.6	1.0H / 2.0W - 黄褐色 - ③ 1mm 到處の黒色砂粒を含む。	外面：タラオ版 内面：当て貝版	
10	玉類貝 壳	壁土	1.0H : -5.0 底径 : - 周長 : -27.1	1.0H / 2.0W - ② 内外：茶褐色 - ③ 石灰、角閃石を含む。 ④ 1.0H 1/2	外面：1.0Hヨコナデ 内面：1.0Hヨコナデ、腹縫隙部のヘラケズリヨコナデ	
11	玉類貝 壳	壁土	1.0H : Q010 底径 : - 周長 : -3.3	1.0H / 2.0W - ② 内外：褐色 - ③ 石灰、輝石を含む。 1mm 以下 の砂粒を多く含む。 ④ 1.0Hヨコナデ	外面：ヨコナデ 内面：ヨコナデ	



遺物観察表（その他）

第28表 1号土坑(D-1)出土遺物

No.	部類	出土位置	深度 cm	成・整列状況	備考
1 球	陶土器	覆土 1.5m 底付 直径: <3.1	1.5m付 2.2m付 にぶい褐色 3.5cm厚 の粘土質の瓦片	成・整列状況なし 外面: 1層織目コロナ。内部: ハラタスリ	

第29表 4号土坑(D-4)出土遺物

No.	部類	出土位置	深度 cm	成・整列状況	備考
1 S字管	陶土器	1.5m付 底付 直径: <2.4	1.5m付 2.2m付 内面: 水洗褐色 3.5cm の粘土質	成・整列状況なし 内面: コロナ	

第30表 第1トレンチ出土遺物

No.	部類	出土位置	深度 cm	成・整列状況	備考
1 鉢	陶土器	1.5m付 底付 直径: <2.4	1.5m付 2.2m付 内面: 水洗褐色 3.5cm の粘土質	成・整列状況なし 内面: 青色の灰化土。1.5m付上部は斜面及び傾斜の輪郭 が見られる。	1層織目外斜面状。内面の 周辺部分には火灰が付着
2 盆	陶土器	1.5m付 底付 直径: <2.9	1.5m付 2.2m付 内面: 水洗褐色 3.5cm の粘土質	成・整列状況なし 内面: ヨコナメ	火灰付
3 盆	陶土器	1.5m付 底付 直径: <3.7	1.5m付 2.2m付 内面: 水洗褐色 3.5cm の粘土質	成・整列状況なし 内面: ヨコナメ	火灰付
4 盆	陶土器	1.5m付 底付 直径: <2.6	1.5m付 2.2m付 内面: 水洗褐色 3.5cm の粘土質	成・整列状況なし 内面: スコロピを含む 瓦礫片	1.5m付に確定を施し、その上から表面的の洗掘 と山形の洗掘
5 盆	陶土器	1.5m付 底付 直径: <2.9	1.5m付 2.2m付 内面: 水洗褐色 3.5cm の粘土質	成・整列状況なし 内面: スコロピを含む 瓦礫片	火灰付
6 盆	陶土器	1.5m付 底付 直径: <3.9	1.5m付 2.2m付 内面: 水洗褐色 3.5cm の粘土質	成・整列状況なし 内面: コロナ 1mm程度の砂粒を含む 瓦礫片	瓦礫のナデ
7 盆	陶土器	1.5m付 底付 直径: <4.5	1.5m付 2.2m付 内面: 水洗褐色 3.5cm の粘土質	成・整列状況なし 内面: スコロピを含む 瓦礫片	火灰付
8 盆	陶土器	1.5m付 底付 直径: <2.0	1.5m付 2.2m付 内面: 水洗褐色 3.5cm の粘土質	成・整列状況なし 内面: ヨコナメ	火灰付

第31表 第2トレンチ出土遺物

No.	部類	出土位置	深度 cm	成・整列状況	備考
1 盆	陶土器	1.5m付 底付 直径: <4.4	1.5m付 2.2m付 内面: 水洗褐色 3.5cm の粘土質	成・整列状況なし 外面: 2段の織目状灰文 (1.1m), 2段目 (0.9m) の手刷毛 下の織目状の一部がみられる 内面: 織目コロナ	手刷毛

第32表 第3トレンチ出土遺物

No.	部類	出土位置	深度 cm	成・整列状況	備考
1 盆	陶土器	1.5m付 底付 直径: <3.5	1.5m付 2.2m付 内面: 水洗褐色 3.5cm の粘土質	成・整列状況なし 外面: 周囲4mmの位置に縦溝3条。1段の区画は3つの 窪溝で、下段の窪溝の中には横筋が重複される。そ してこれは窪溝のダメージによるものと想定される 内面: ヨコナメ	
2 盆	陶土器	1.5m付 底付 直径: <2.2	1.5m付 2.2m付 内面: 水洗褐色 3.5cm の粘土質	成・整列状況なし 内面: ハラタスリ	
3 盆	陶土器	1.5m付 底付 直径: <3.6	1.5m付 2.2m付 内面: 水洗褐色 3.5cm の粘土質	成・整列状況なし 内面: 表面焼けたため判定不可	外側: 黒色退色
4 土器	土器	1.5m付 底付 直径: <3.0	1.5m付 2.2m付 内面: 水洗褐色 3.5cm の粘土質	成・整列状況なし 内面: コロナ、バニスを少許含む。(1段織目から下位1.5 m付)	内面: 1層織目コロナ。1.5m付は織目コロナ。上施されている ものち焼成灰 (ヨコナメ)。
5 蓋	土器	1.5m付 直径: 0.42	1.5m付 2.2m付 内面: 水洗褐色 3.5cm の粘土質	成・整列状況なし 内面: 体積1/3位のハラタスリ、中央へ下位1.5m付	内面: 1層織目コロナ。
6 盆	陶土器	1.5m付 底付 直径: <1.9	1.5m付 2.2m付 内面: 水洗褐色 3.5cm の粘土質	成・整列状況なし 内面: 断面は手刷毛による約0.1m。その下にお馴染 の表面焼成灰。製造は弓削河内山田山で織目を水洗灰文 内面: 内外とも1層織部へ断面にかけた焼ナメ	内面: ハラタスリ



遺物観察表（その他）

第33表 第4トレンチ出土遺物

第34表 Aグリット出土遺物(1)

第5回 戦 父の山と魔物(1)		父の山と魔物(2)		魔物の心の特徴		備考
No.	主な登場人物	主な出来事	主な魔物	魔物の特徴	魔物の心の特徴	
1	父王と孫	A3A 1. 普段の生活 2. 父王の死 3. 魔物の出現	1. 山内 - 帽子・石英を含む。 (山林魔物) 2. 魔王 - <3歳> 3. 魔女 - <3歳>	外道: 山林魔物(3歳)の魔王 1頭 内道: 魔女のハラタケリ	外道: 1. 山林魔物(3歳)の魔王 1頭 内道: 魔女のハラタケリ	
2	父王と孫	A3B 1. 普段の生活 2. 父王の死 3. 魔物の出現	1. 山内 - 例: 魔王、魔女、魔物、魔岩石等 2. 魔物: 魔女が魔物を召喚する (山林魔物) 3. 魔女 - <2歳>	外道: 山林魔物(4歳) 1頭、山林魔物(3歳)の魔王のち、 下界に 4 頭の魔魔 内道: ハラタケリ	外道: 1. 山林魔物(4歳) 1頭、山林魔物(3歳)の魔王のち、 下界に 4 頭の魔魔 内道: ハラタケリ	
3	父王と孫	A3A 1. 普段の生活 2. 父王の死 3. 魔物の出現	1. 山内 - 山内は「褐色」で石英を少量含む。 (山林魔物) 2. 魔物: 魔女が魔物を召喚する (魔魔) 3. 魔女 - <3歳> 4. 魔魔 - <3歳>	外道: 1. 山林魔物(4歳) 1頭、魔魔 1頭 内道: 1. 山林魔物(4歳) 1頭、魔魔 1頭	外道: 1. 山林魔物(4歳) 1頭、魔魔 1頭 内道: 1. 山林魔物(4歳) 1頭、魔魔 1頭	
4	父王と孫	A3B 1. 普段の生活 2. 父王の死 3. 魔物の出現	1. 山や木立 - 山内は「褐色」で石英、魔石、魔岩石等 2. 魔物: 1mm程度の砂粒多く含む (魔魔) 3. 魔魔 - <2歳>	外道: 1. 山林魔物(4歳) 1頭、キサウテイのような魔文が 6 つ、相思 のような魔文 (8 頭)	外道: 1. 山林魔物(4歳) 1頭、キサウテイのような魔文が 6 つ、相思 のような魔文 (8 頭)	
5	父王と孫	A3A 1. 普段の生活 2. 父王の死 3. 魔物の出現	1. 山内 - 例: 石英を少量含む。魔石、魔岩石等魔石 2. 魔物: 魔魔 3. 魔魔 - <1歳>	外道: 魔魔魔民長 (1 頭) 内道: 魔魔のハラタケリ	外道: 魔魔魔民長 (1 頭) 内道: 魔魔のハラタケリ	



遺物観察表（その他）

第35表 Aグリット出土遺物(2)



遺物観察表（その他）

第36表 Aグリット出土遺物(3)

品目名	出荷品目	規格	原産地	販売区分	販売区分(内訳)	備考
32. 犬脚踏 糞	A33	1kg×10袋	日本・宮崎県以外に於ける 糞を含む。 3mmの繊維を多く 含む。	内筒	内筒原毛コチ、御殿原毛のヘタケ入り 内筒一 糞を含む。 3mmの繊維を多く 含む。	内筒原毛コチ、御殿原毛と糞のヘタケ入り 内筒一 糞を含む。
33. 犬脚踏 糞	A33	1kg×10袋	日本・宮崎県以外に於ける 糞を含む。 3mmの繊維を多く 含む。	内筒	内筒原毛コチ、御殿原毛のヘタケ入り 内筒一 糞を含む。 3mmの繊維を多く 含む。	内筒原毛コチ、御殿原毛のヘタケ入り 内筒一 糞を含む。
34. 犬脚踏	A30	1kg袋	日本・宮崎県以外に於ける 糞を含む。 3mmの繊維を多く 含む。	内筒	内筒原毛のヘタケ入り 内筒一 糞を含む。 3mmの繊維を多く 含む。	内筒原毛のヘタケ入り 内筒一 糞を含む。
35. 犬脚踏 糞	A17	1kg袋	日本・宮崎県以外に於ける 糞を含む。 3mmの繊維を多く 含む。	内筒	内筒原毛のヘタケ入り 内筒一 糞を含む。	内筒原毛のヘタケ入り 内筒一 糞を含む。

第37表 Bグリット出土遺物(1)



遺物観察表（その他）

第38表 B グリット出土遺物(2)

No.	品種	出土位置	重量(ten)	1)物質(2)地質(3)性状 成・整列状況の明細	備考
19	土器底	B27	1.1H:	— 成形:— 焼成:— 表面:— 底面:— 1mm以下の颗粒を含む。 表面を少しあげた。 外底:上端下位範囲の三分半	
20	土器底	B26	1.1H:	— 成形:— 焼成:— 表面:— 底面:— 1mm以下の颗粒を含む。 表面を少しあげた。 外底:側面直角	
21	土器底	B39	1.1H:	— 成形:— 焼成:— 表面:— 底面:— 1mm以下の颗粒を含む。 表面を少しあげた。 外底:側面直角	
22	土器底	B25	1.1H:	— 成形:— 焼成:— 表面:— 底面:— 1mm以下の颗粒を含む。 表面を少しあげた。 外底:側面直角	
23	土器底	B22.1	1.1H:	— 成形:— 焼成:— 表面:— 底面:— 1mm以下の颗粒を含む。 表面を少しあげた。 外底:側面直角	
25	土器底	B34	1.1H:	— 成形:— 焼成:— 表面:— 底面:— 1mm以下の颗粒を含む。 表面を少しあげた。 外底:側面直角	

第39表 出土石器

No.	品種	出土位置	石材	長さ(cm)	重さ(g)	備考
1	石鏃(木製柄)	B1区A22.7 付	黒曜石	長さ:1.2 幅:0.8 厚さ:0.2	0.1	縄文時代
2	網目網目	1号墳六肢埴輪1号	燧石	長さ:5.2 幅:1.1 厚さ:0.5	39	古墳時代
3	石鏃	H14号埴輪裏	燧石	長さ:3.8 幅:3.5 厚さ:0.4	10	古墳時代
4	石鏃	H9号埴輪3号	燧石	長さ:3.8 幅:1.1 厚さ:0.9	1.9	古墳時代
5	スクレーヴィー	C区B31.7付	石英	長さ:6.5 幅:5.2 厚さ:1.3	543	
6	石鏃	H3号埴輪2号	安山岩	長さ:5.2 幅:5.6 厚さ:1.2	606	古墳時代
7	石斧	H5号埴輪3号	安山岩	長さ:3.7 幅:4.7 厚さ:1.1	545	古墳時代
8	石斧	H3号埴輪2号	安山岩	長さ:4.1 幅:5.2 厚さ:1.2	1018	古墳時代
9	石鏃	H14号埴輪1号	石英	長さ:6.5 幅:10.4 厚さ:4.6	542.2	古墳時代
10	磨石	H14号埴輪土	安山岩	長さ:5.4 幅:5.9 厚さ:3.4	535	
11	輪形石(こも縁み石)	H3号埴輪王城 36.1根出	安山岩	長さ:13.2 幅:6.8 厚さ:3.9	664.3	



IV 発掘の成果と総括

1 西台Ⅰ・Ⅱ遺跡の土器の変遷

西台Ⅰ・Ⅱ遺跡（以下、西台遺跡と呼称する）では、弥生時代後期から古代にかけての住居21軒確認された。ここでは住居出土の土器を分析し、西台遺跡の集落存続時期について見ていく。

時期比定にあたっては、弥生後期から古墳前期の期間を若狭・深澤2005、若狭2007論文、古墳時代後期から奈良・平安時代以降は坂口1986、坂口・三浦1986論文を参考とした。住居出土の土器から時期を推定すると、西台遺跡では大きくⅦ期に分けられる。

I期（第54図）

Y-1、Y-3を指標とする。Y-1号住居やY-3号住居は樽式土器の壺・甕を主体としており、高杯、大型高杯、片口土器、甕など、弥生後期の一般的な土器組成が確認できる。Y-1号住居ではT字文が施された壺やY-3号住居の口縁部に刻目を施す甕が確認できる。これらは信州や南関東の影響を受けたものと考えられる。

II期（第54図）

II期はH-2号住居を指標とする。東海系高杯の脚部が出土している。そのため、東海系集団の入植以後の時期であるが、その他の土器がなく明確な時期を示すことはむずかしい。

III期（第54図）

III期はH-3、H-4、H-5号住居が該当する。これらの住居からは壺、小型壺、S字甕、台付甕、高杯、甕などの器種が確認できる。機内系屈曲高杯の出現や弥生後期以来の在地系要素を持つ土器が完全に確認できない点が特徴としてあげられる。

IV期（第55図）

H-8号住居、H-11号住居が該当する。IV期は長胴甕、土師器環を主体とし、長胴甕は頸部から口縁にかけての屈曲が緩く、胴中・上位に最大径が来るもののが目立つ。また、環は身深で胴部稜から口縁にかけてやや外反するものの中に、直立する個体も混じる。

V期（第55図）

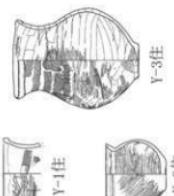
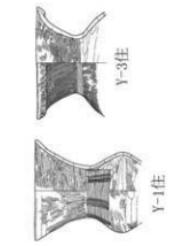
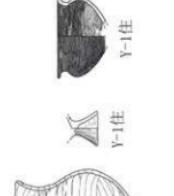
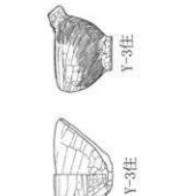
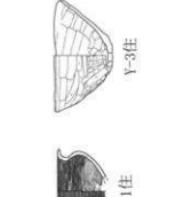
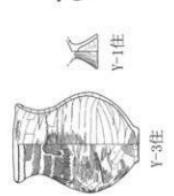
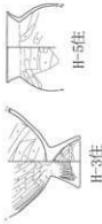
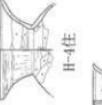
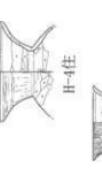
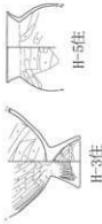
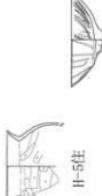
H-9号住居、H-12号住居が該当する。土師器環、鉢、壺、小型甕等の器種が確認できる。土師器環は身浅で、体部の稜から口縁にかけて短く外反するものと直立するものに分けられる。また、口縁部中位に段を有するものと杯が組成に加わる点もこの時期に特徴としてとらえられる。

VI期（第55図）

VI期はH-15号住居が該当する。H-15号住居では、土師器環、甕、壺、長胴甕、甕、須恵器蓋、盤上高杯などの器種が確認できる。宝珠型のつまみを持つ須恵器蓋が組成に加わる点に特徴を有する。長胴甕は頸部から口縁が強く外反し、胴上・中位に最大径を持つ。

VII期（第56図）

VII期はH-13号住居、H-14号住居が該当する。土師器は身浅の环、鉢、甕が確認できる。須恵器は环、蓋、高台付环、高台付皿、大甕が確認できる。器種構成において多くの器種で須恵器が使用されている点が一つの特徴としてとらえられる。

	壺	甕	高杯	瓶	片口
I 期	 Y-1住  Y-3住	 Y-1住  Y-3住	 Y-1住  Y-3住		
II 期			 H-2住	 H-5住  H-4住	
III 期	 H-5住	 H-5住	 H-4住	 H-5住  H-4住	 0 20cm

第54圖 西台 I・II遺跡出土器物 I~III期

	甕	壺	土師器杯	鉢	須惠器
IV期	H-8住 H-11住	H-11住 H-8住			
V期		H-9住 H-12住 H-12住	H-9住 H-12住	H-15住 H-15住 H-15住 H-15住	H-15住 H-15住 H-15住 H-15住
VI期	H-15住 H-15住			H-15住 H-15住 H-15住	

第55圖 西台·II遺跡出土器物IV~VI期

	土師器杯	須惠器杯	須惠器蓋	須惠器盤	短甕壺
VII期	H-13住 	H-14住 	H-14住 	H-14住 	H-13住
	H-13住 	H-14住 	H-14住 	H-14住 	



I期からVII期までに実年代をあてると下記のようになる。

I期：弥生後期後半

II期：弥生終末期～古墳前期前半（3世紀～4世紀前半）

III期：4世紀後半～終末

IV期：6世紀前半

V期：6世紀後半

VI期：7世紀第3四半

VII期：8世紀前半

以上、遺構内出土土器から時期比定をおこなった。時期が弥生後期から奈良時代までと長期にわたるのに対し、遺構数が少ないため、各所に空白期間が認められる。今回、遺構に伴うものではなかったため分析からは外したが、弥生中期や平安時代など、空白期間に該当する土器も少なからず認められている。今後、発掘調査が進展した際にはこれらの時期に該当する遺構が発見されても不思議ではない。今後の調査に期待したい。

2 西台遺跡と周辺古墳

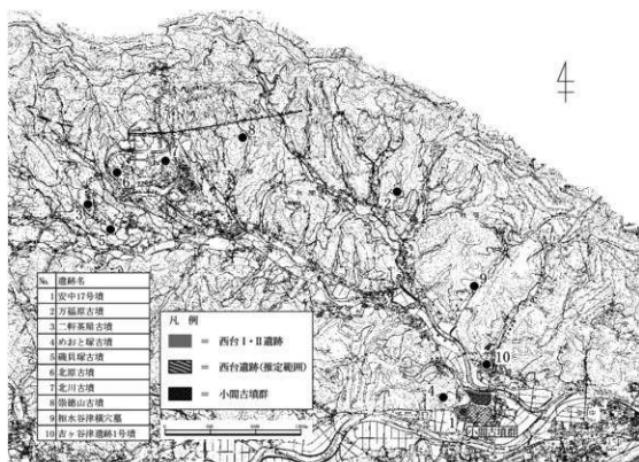
西台遺跡が所在する段丘面には6世紀後半から7世紀代に築造されたと考えられている小間古墳群が所在する（第57図）。小間古墳群では現在までに6基の古墳が確認されており、そのうちの1基である安中17号墳のみ発掘調査が実施されている。

また、西台遺跡の西側にそびえる後関丘陵のトップには、副室構成の截石切組積石室を有するめおと塚古墳が所在する。めおと塚古墳は前橋市の宝塔山古墳の横穴式石室と類似していることから、宝塔山古墳の影響の元で築造されたことが古くから指摘されている。宝塔山古墳は前橋市山王庵寺を創建した集団の首長墓であると考えられており、この山王庵寺の創建期には秋間地区で操業されていた秋間古窯跡群（八重巻窯跡）の瓦が供給されていた。生産地（めおと塚古墳）と供給地（宝塔山古墳）という関係にあったからこそ、両古墳の石室は類似している、と理解されている。本地域を語る上で、めおと塚古墳は外すことことができないことがわかる。西台遺跡はこれらの古墳のお膝元に位置する集落であり、古墳と集落との関係が注目される。そこで、これまでの既存研究・発掘の成果を整理して、西台遺跡の集落と周辺古墳の時期を比較していくこととする。

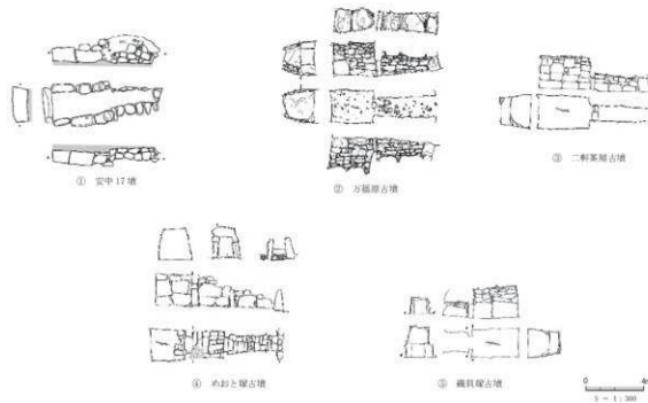
秋間地区では、加工した石材を使用して構築された横穴式石室を持つ古墳がいくつか存在する。そのうち、截石切組積石室を有する古墳は西台遺跡近傍（秋間川下流域）のめおと塚古墳（第58図-④）、秋間川上流域に築造された二軒茶屋古墳（第58図-③）、秋間丘陵（秋間川中流域の支流）に築造された万福原古墳（第58図-②）所在する。また、截石切組積石室ではないものの、切組手法を用いて築造されている磯貝塚古墳（第58-⑤）も秋間地区の主要な古墳としてあげられる。

このうち、截石切組積石室を有する古墳の石室については、右島和夫や草野潤平による形式的な検討によって編年案が提示されている（右島1994、草野2016）。両者の編年観は、めおと塚古墳が前橋市宝塔山古墳の影響のもと成立したという見解で一致しており、7世紀中葉から第3四半築造の前橋市宝山古墳に対し、めおと塚古墳を7世紀後半の築造とする。

めおと塚古墳以前の截石切組積石室の2基については、両者が考える截石切組積石室の成立背



第57図 西台I・II遺跡と周辺の古墳分布



第58図 秋間地区の主要古墳石室



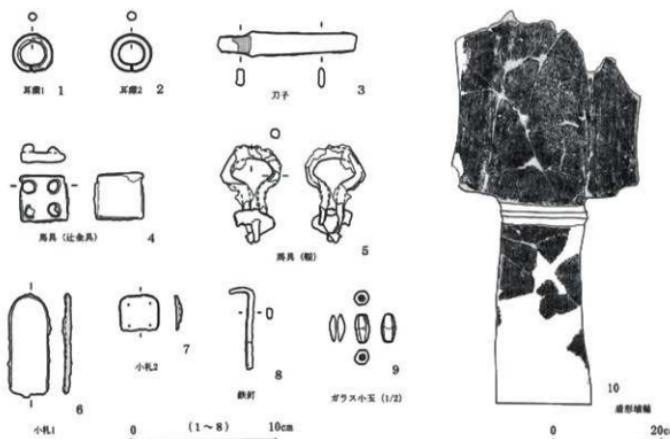
景の違いによって遡及時期が異なる。また、石室の形式学的な見解の違いによって変遷過程も異なる。右島が二軒茶屋古墳から万福原古墳への変遷を想定するのに対し、草野は万福原古墳から二軒茶屋古墳への変遷を想定している。

この問題についての是非は、主題とずれるため本報告では問わない。ここでは、西台遺跡の後に築造されたおと塚古墳が7世紀後半の築造であるという共通見解を確認しておく。

次に小間古墳群に所在する安中17号墳の時期についてみていく。安中17号墳は墳丘規模約7m程度の円墳で、両袖型の横穴式石室を有する。開口部墳丘には円筒埴輪や家形、盾形の継承埴輪が樹立されており、埴輪の胎土には結晶片岩や海綿骨針が混じることから藤岡産の埴輪と推定されている。石室は盜掘を受けた痕跡が確認されるが、石室内からは耳環、刀子、馬具、小札等が出土しており、これらの出土遺物状況から6世紀後半の時期が推定されている（第59図）。

横穴式石室の構築技法を見ると、旧地表面を浅く掘り込んで石室を構築しており、掘り込みから飛び出た壁石材部分には裏込めを充填している。石室石材には溶結凝灰岩の割石を使用し、玄室の壁面は面加工を施すため、ノミ状工具での加工痕が石室壁面全体に残る。また、側壁の一部には切組手法も用いられている（第60・61図）。

群馬県における横穴式石室を5段階で示した右島の横穴式石室の変遷（第62図）を基軸に、安中17号墳の石室技法をみると、第Ⅲ段階の特徴が当てはまる。第Ⅲ段階の特徴は、石材の大型化と加工石材の使用であり、6世紀後半から末葉の時期を中心とすることが示されている。



第59図 安中17号墳の出土遺物



第60図 安中17号墳の石室（西側から撮影）



第61図 安中17号墳 ノミ状工具痕とL字加工

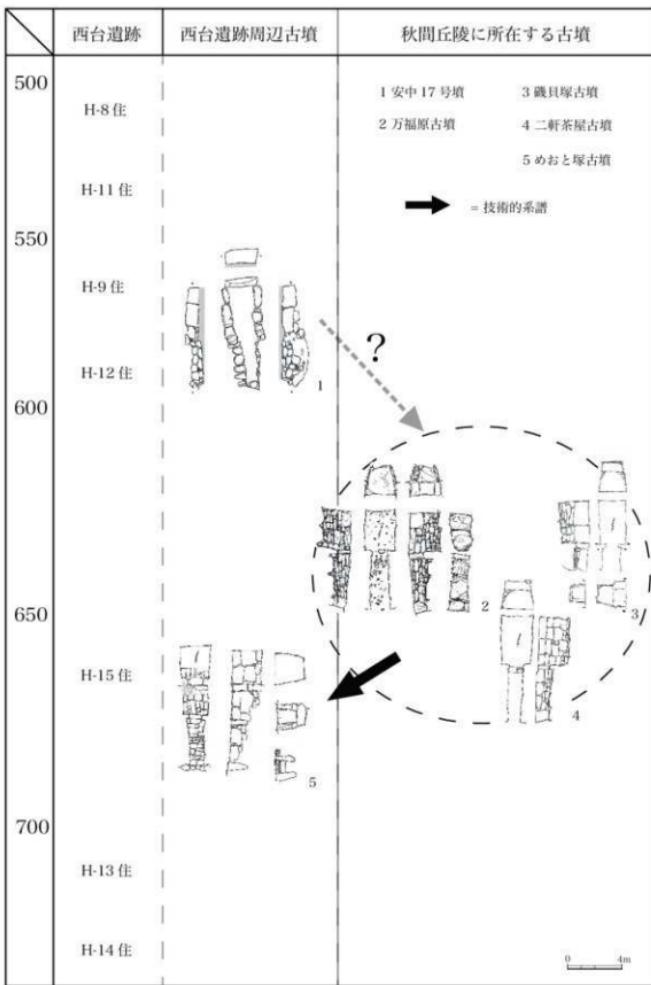
安中17号墳では石室構築に加工石材を多用している。こうした状況は先に見てきた安中17号墳出土の遺物の年代観と一致するものであり、6世紀後半の築造は確実であると判断される。

以上、極簡単にではあるが西台遺跡の近傍に所在する安中17号墳とめおと塚古墳の時期についてみてきた。これらを前節の時期と比較すると第63図のように示せる。安中17号墳が築造された時期である6世紀後半には西台遺跡H-9号住居とH-12号住居が該当する。めおと塚古墳が築造された7世紀後半の時期にはH-15号住居が該当する。

時期比定の基準が異なるため、両者を完全な同時期とできるかは慎重にならなければならない。一方で、幅広くみれば同時期に古墳と集落の2者が存在していたと判断して差支えないだろう。西台遺跡は安中17号墳が所在する小間古墳群やめおと塚古墳の基幹集落であった可能性が高いと結論付けられる。なお、第63図中に示した石室の技術的な系譜関係については、西台遺跡が所住する秋間地区の歴史を復元するにあたり重要な要素の一つである。加工石材の使用という点で技術的系譜が追える可能性があるが、6世紀後半の事例が1例しかないため、連続性は不明である。今後の調査事例の増加とともに、それぞれの石室の形式学的な分析を課題としてあげておく。



第62図 上野地域の横穴式石室の変遷（右鳥1994を一部加筆して引用）



第63図 西台 I・II 遺跡と古墳の対応関係



3まとめ

以上、6世紀以降の西台遺跡について、多少の深堀をおこなった。めおと塚古墳は前橋市宝塔山古墳との関係が指摘されている古墳であり、その背景には秋間丘陵で行われた窯業生産が関係していることが指摘される秋間地区を代表する古墳である（右島2003）。西台遺跡がめおと塚古墳の基幹集落として機能してならば、今後、集落の中心域の発掘が行われた際に秋間古窯跡群との関連を示す何かが明らかとなる可能性は高いと考えられる。

また、西台遺跡の特徴として、弥生時代中期から平安時代までの長期にわたり人間活動が行われていたことがあげられる。本報告では、確認されたすべての時代の触れることができなかつたが、本遺跡が所在する地域はこれまで調査例がなかったために、安中市域の歴史を復元するにあたり重要な手掛かりとなることは間違いない。本報告が今後の研究の進展をすすめることを祈るばかりである。

【引用・参考文献】

- 安中市市史刊行委員会2001『安中市史』第四巻 原始古代中世資料編 安中市市史刊行委員会
安中市教育委員会2012『市内遺跡I－八幡平遺跡・向山遺跡・小峰遺跡・安中17号墳－』
草野潤平2016『東国古墳の終焉と横穴式石室』雄山閣
坂口一1986「古墳時代後期の土器の編年 一三ツ寺Ⅲ遺跡を中心とした土師器と須恵器の平行関係一」『群馬文化』第208号 群馬県地域文化研究協議会
坂口一・三浦京子1986「奈良・平安時代の土器の編年 一住居の重複と共に伴関係による土器型式組列の検討一」『群馬県史研究』第24号 群馬県史編さん委員会事務局
右島和夫1994『東国古墳時代の研究』
右島和夫2003「六 秋間地区的終末期古墳と古窯跡群」『安中市史』第二巻 通史編 安中市市史刊行委員会
若狭徹・深澤敦仁2005「北関東西部における古墳出現期の社会」『シンポジウム 新潟県における高地性集落の解体と古墳の出現』新潟県考古学会
若狭徹2007『古墳時代の水利社会研究』学生社

写 真 図 版



図版 1





図版 2



第4トレンチ 1号溝（南から撮影）



第2トレンチ 1号溝（西から撮影）



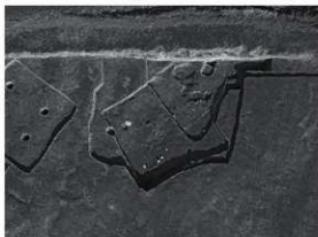
Y-1号住居 全景（左上が北）



Y-1号住居 土器検出（住居北東隅）



Y-4、H-1・2・13号住居 全景（左上が北）



Y-5、H-4・14号住居 全景（左上が北）



H-10・15号住居 全景（左上が北）



H-15号住居 カマド（南西から撮影）

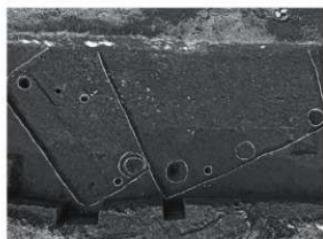
図版 3



H-9号住居 全景（右上が上）



H-9号住居 焼土層検出（南壁中央）



Y-3、H-5号住居 全景（上が北）



Y-3号住居 炉、炭化物検出



Y-3号住居 炉



Y-3号住居 土器検出



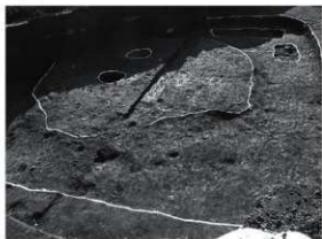
I号竖穴状遺構 全景



I号竖穴状遺構 完掘状況（西から撮影）



図版 4



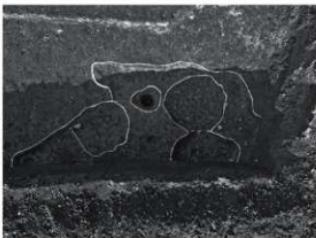
1号竖穴状遺構 完掘状況（東から撮影）



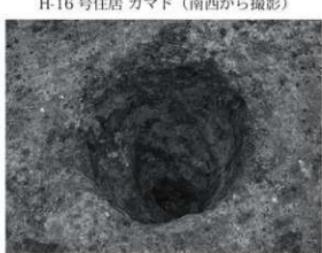
H-16号住居 全景（右上が北）



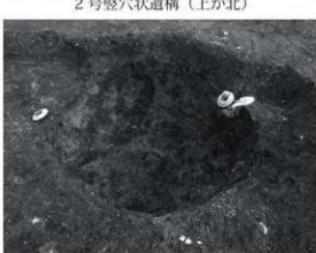
H-16号住居 カマド (南西から撮影)



2号竖穴状遺構 (上が北)



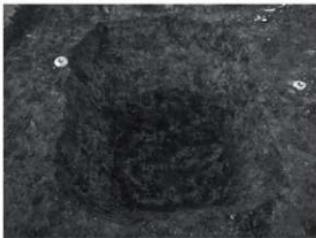
第2トレンチ 1号ピット 完掘状況



2号土坑 完掘状況



3号土坑 完掘状況



4号土坑 完掘状況

図版 5



H-15号住居カマド前 土器検出



Y-2号住居、2号溝、2・3号土坑 全景（上が北）



2号溝 全景（東から撮影）



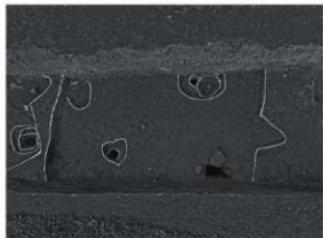
2号溝 セクション（東から撮影）



H-11号住居 全景（上が北）



H-11号住居 カマド（西から撮影）



H-12号住居 全景（上が北）



H-12号住居 カマド（西から撮影）



図版 6

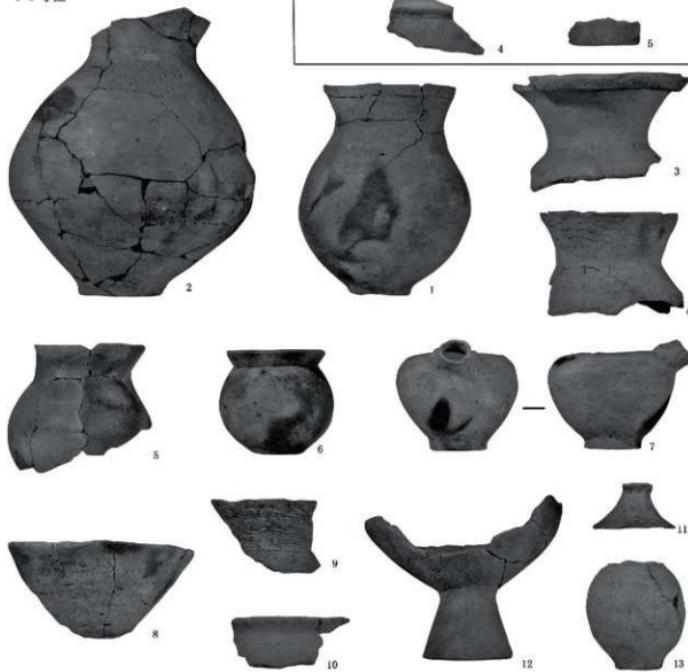
Y-1 号住



Y-2 号住



Y-3 号住



Y-1 の 8~11、Y-2 の 1~4、Y-3 の 9 = 1/2 他 1/4



図版 7

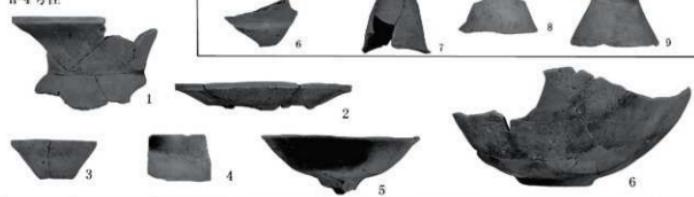
Y-4 号住



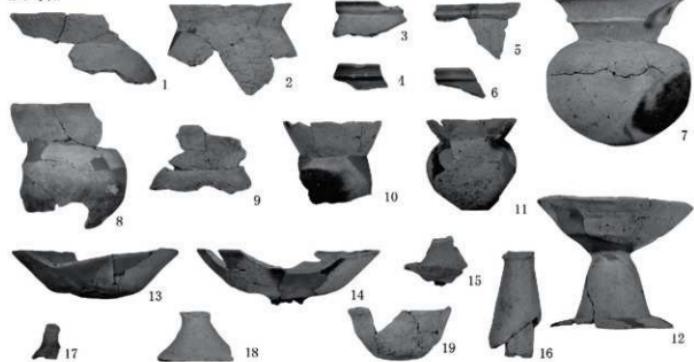
H-1 号住



H-4 号住



H-5 号住



Y-4 の 5 ~ 8, Y-5, H-3 の 4 が 1/2 拡大 1/4



图版 8

H-6 号住



H-7 号住



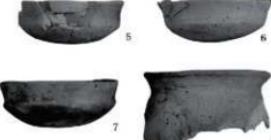
H-8 号住



H-10 号住



H-11 号住



全图 1/4

図版 9

H-11 号住



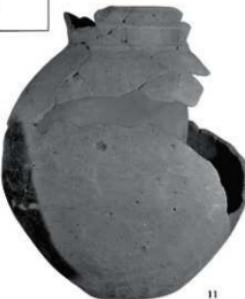
H-12 号住



6

7

8



H-15 号住



7

8

9

10



11

12

13



余白 1/4



図版 10

H-15号住



1号堅穴状遺構



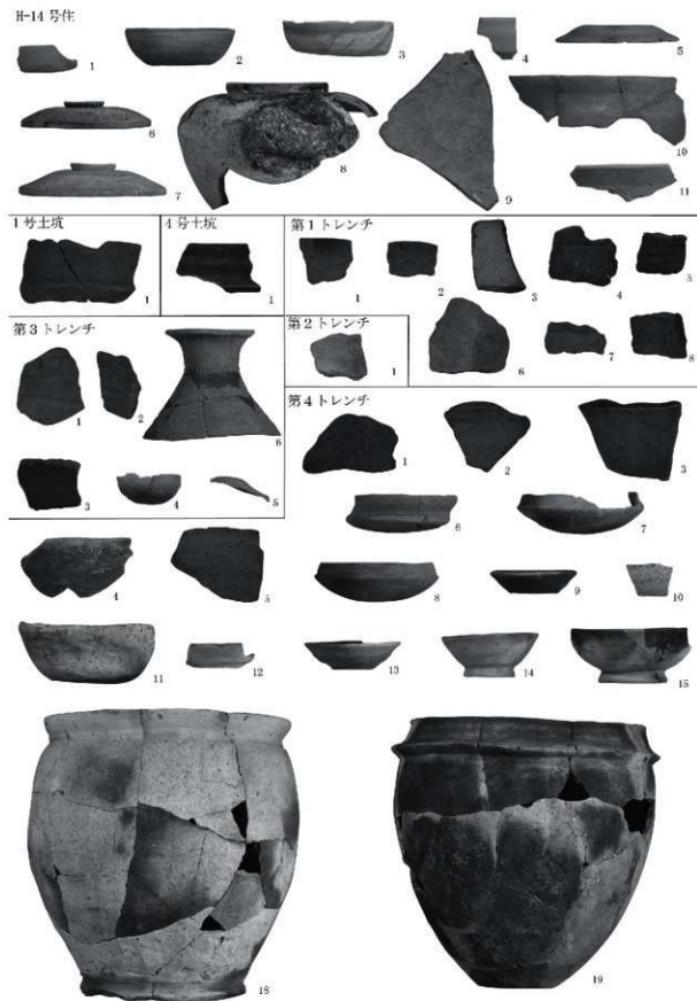
H-13号住



1号堅穴状遺構の1～7、H-13の16 = 1/2 他 1/4



図版 11





図版 12

第4 トレンチ



Aグリッドの 1 ~ 16 • 18 • 20 • 35 = 1/2 他 1/4





図版 13

Bグリッド



Bグリッドの1 = 1/4 他1/2





図版 14



1・2・4 = 等倍
1・2・4 = 1/2





発掘報告書 抄録

ふりがな	にしだい いち・に いせき						
書名	西台 I・II 道路						
副書名	都市計画道路（扇城下秋間線）工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書						
著者							
シリーズ番号							
編集者名	鳥居貴廣 関根史比古						
編集機関	安中市教育委員会						
編集機関所在地	379-0292 群馬県安中市松井田町新屋469-1 TEL 027-382-7622						
発行年月日	西暦2022(令和3) 03月22日						
所収道路	所在地	コード	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		由町村 道路番号(略称)	° ′ ″	° ′ ″			
西台 I・II 道路	安中市安中字 西台	102113	205 (0-33)	36° 20' 14.93"	138° 53' 22.75"	20190827 ~ 20191203	986m ² 都市計画道路 工事
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
西台 I・II 道路	集落跡	弥生	住居址	弥生中・後期土器、石器	住居遺構は弥生後期に帰属するもののみ確認した。 弥生時代の土器が調査区全体の遺構外で出土しました。		
		古墳	住居址、溝、窓穴式遺構	土師器、須恵器、滑石製模造品、石製箋身具			
		奈良	住居址	土師器、須恵器、铁滓			
		平安		土師器	遺物のみの確認で、遺構は検出されなかった。		

(要約)

本遺跡は弥生後期から平安時代の集落遺跡である。九十九川と秋間川の合流地点の段丘上に所在し、同一面には小間古墳群と呼ばれる群衆墳が築造されている。西台 I・II 道路の背後にそびえる後御丘陵では、戴石切組積石室を有する7世紀後半に築造されたためおと塙古墳が存在する。めおと塙古墳や小間古墳群の築造時期と西台 I・II 道路の築造時期を照らし合わせると一致することから、西台 I・II 道路がこれらの古墳の基幹集落のような役割をになった可能性が考えられる。

西台 I・II

— 都市計画道路（扇城下秋間線）工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 —

令和4年3月18日 白刷

令和4年3月22日 発行

編集・発行 / 安中市教育委員会

〒 379-0292 群馬県安中市松井田町新屋 469-1

TEL 027-382-1111(代表)

印 刷 / 上海印刷工業株式会社